新春特別企画

トータルヘルスケアサービスの提供を目指して

取材協力／社会医療法人 ジャパンメディカルアライアンス

公共性を高め、安定した医療サービスを

救急医療や周産期医療など、地域医療の確立が求められている昨今、海老名、綾瀬など県央エリアの中核的医療機関としての役割を担い、医療から介護まで総合的な医療サービスを提供する社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス。昨年4月に、厚生労働省所管としては全国で初めて社会医療法人の認定を受けるなど多様化する患者ニーズに対応するため、地域住民への安定した高機能医療の提供とともに、公共性の高い医療を追求する同法人の杉原理事長に話を聞いた。

杉原弘晃理事長

―厚生労働省所管の医療法人としては、全国ではじめて「社会医療法人」に認可されたそうですが？

神奈川県と埼玉県で一定のレベル以上で救急医療に取り組んできたことや経営面での透明性など、これまで長年行ってきた活動が、今回の認可の主要件でした。そのため、認可によって私どもの取り組みが大きく変わった訳ではありません。しかし、法人税や固定資産税など税制面での優遇が受けられることは、医療を通して地域への貢献をより一層果たさねばならないという使命感を新たにするものでした。なお、社会医療法人では収益事業が認められているため、病院が考える美と健康のブランドとして「ジェーマ」を昨年11月に立ち上げました。

救急・一般外来からリハビリ・慢性期まで

―海老名総合病院をはじめとした施設のそれぞれの役割は？

一昔前まで日本の病院の多くは、救急から一般外来、慢性期まで幅広くどんな患者さんでも受入れるのが一般的でした。それは患者さんの利便性のみを考えれば良いことでしたが、病院への患者集中や入院日数の長期化、運営面での非効率など、多くの問題を抱えていました。そのため、法律改正や診療報酬の改定などにより、医療施設の「機能分化」が国全体で推進されてきました。私どもは5年ほど前からこの「機能分化」への積極的な取り組みを始めました。

まず5年前に、3つの医療施設に分散していた外来部門を再編し、総合的な高機能診療所として「海老名メディカルプラザ」を設立しました。プラザでは、16という多彩な診療科を設置し、1日千人近い外来患者さんの診療に当たっています。また、昨年から通院が困難な患者さんに医師が直接ご自宅へ伺う訪問診療も開始しました。

次に、3年ほど前、2つの病院に分かれていた救急と急性期入院の機能を「海老名総合病院」に統合しました。これにより救急の窓口が一つとなり、患者さんの受け入れがスムースになりました。総合病院は、現在、県から地域医療支援病院の認可を頂き、地域の中核的な急性期病院としての機能を発揮しています。

一方、「海老名メディカルサポートセンター」は、慢性期の入院機能とともに、昨年7月から脳卒中や骨折後の患者さんを診る「回復期リハビリテーション病棟」をオープンしました。また、外来部門では、漢方、美容、生活習慣改善など、他の施設とは異なるユニークな外来を展開しています。さらに、市の健診や人間ドックを担当する「ヘルサック」もあります。

海老名総合病院

海老名メディカルサポートセンター

医療と介護は車の両輪

―医療だけでなく、介護の分野も取り組んでいるようですが？

医療と介護は車の両輪で、どちらが欠けても高齢者の方の療養生活は前に進めません。この考えのもと、介護保険制度発足と前後して、「介護老人保健施設アゼリア」と在宅介護事業（訪問看護・介護、福祉用具貸与など）をスタートし、施設及び在宅での介護生活を支援しております。

介護老人保健施設アゼリア

海老名メディカルプラザ

さらなる地域貢献を目指して

―今後、法人が目指すものは？

この地域は県内でも最低レベルの高齢化率ですが、今後急速に高齢化が進みます。この地域ニーズの変化を的確にとらえ、医療・介護崩壊のない安心な地域づくりに微力ながら全力を尽くして参ります。

病院が考える美と健康を毎日に

新ブランド「ジェーマ」誕生

社会医療法人の認定を受け、収益事業が認められた同法人。「医療の立場からできること」の考えから「病院が考える美と健康を毎日に」をテーマに生まれたジェーマ。医療法人としての利点を生かし、現役の医師、看護師、薬剤師、管理栄養士などが専門知識を生かした品質管理を行っている。製造過程の厳密なチェックはもちろん、開発の際には、実際に足を運んで工場を選定した。

きっかけは、患者からの飲みあわせや効能などへの相談の多さから。「医薬品と違い健康食品は法的規制がない。インターネットの普及による入手の手軽さから、ほとんど有効成分がないものなどが出回るなど危険も多い。こうした現状を打開するのが私たちの責務と考えました」と開発ドクターは話す。

サプリメント3種発売

今回発売されたのは、「ルテイン」「グルコサミン&コンドロイチン」「キトサン&茶カテキン」の3種。ルテインはパソコンなど細かい作業が多い人のためにマリーゴールドから抽出したルテインを3粒あたりに10㎎配合させた。また「グルコサミン&コンドロイチン」は立ったり座ったりが気になる人のために10粒あたりにグルコサミン1500㎎、鮫の軟骨成分から抽出したコンドロイチン硫酸を500㎎含有させた。そして「キトサン&茶カテキン」には、食習慣の乱れが気になる人のために、茶カテキンのなかでも濃度の高いエピガロカチキンガレートを40%、7粒あたりに1000㎎のキトサンを含有させた。

医療や介護スタッフはもちろん、患者の協力から誕生したジェーマ。病院という公共性の高い立場の同法人の今後の展開に注目が集まる。

ジェーマ

病院が考える美と健康を毎日に。

医療としての美容を身近に

海老名メディカルサポートセンター内の美容医療センターは、海老名総合病院の高機能なハードとソフトを活用し、より多くの人に美容の効果を実感してもらおうと「安心・安全・信頼」の治療をモットーに、リーズナブルな美容サービスの提供を目指している。

主な治療はシミへの「レーザー治療」、シワ改善の「ボトックス」や「ヒアルロン酸」の注入。光で肌を洗う「フォトフェイシャル」、日常生活で不足しがちなビタミンを補う「美肌点滴」などがある。

フェイシャルエステでは、イオン導入を用いたビタミンCによるコラーゲンの生成をはじめ、トラネキサム酸による肝斑の治療まで行う。ほかにも殆ど切らない手術として、瞼のたるみを改善する「シルエットリフト」やたるんだ目元をすっきりさせる「眼瞼形成術」、「フェイスリフト術」、腰のくびれを取り戻す「タミータック術」などを行う。

新春漢方プチ講座

日時 2010年1月30日(土) 14:00～15:30
演題
第一部 いにしえの賢い養生の話
第二部 冷え性の病態と東洋医学的治療について
講師 海老名メディカルサポートセンター 漢方内科 医師 石田和之
場所 海老名メディカルサポートセンター 8階 会議室
お申し込み 当日直接会場までお越し下さい。
参加費 無料

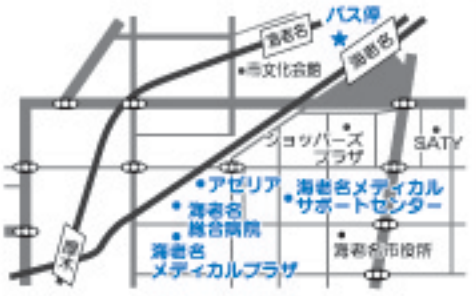
第1回 知って得する健康講座

日時 2010年1月16日(土) 午前11時～(受付10:30) ※1時間程度
テーマ 乳がんについて
講師 海老名総合病院 病院長 内山喜一郎
場所 海老名総合病院 C館2階カンファレンスルーム
お申し込み 海老名総合病院 代表電話 ☎046-233-1311 受付時間 平日10:00～16:00
定員 60名
参加費 無料

JAPAN MEDICAL ALLIANCE
社会医療法人 ジャパン メディカル アライアンス

コールセンター（予約専用）
☎046(234)6529 平日 8:30～17:00／土 8:30～12:00 http://www.jinai.jp

◆海老名総合病院
◆海老名メディカルプラザ
◆海老名総合病院附属 海老名メディカルサポートセンター
◆ヘルスサポートセンター（海老名メディカルサポートセンター内）
◆美容医療センター ☎046(233)8308(直)（海老名メディカルサポートセンター内）
◆介護老人保健施設アゼリア
◆ホームヘルスケア事業部（海老名メディカルサポートセンター内）
◆ジェーマ http://www.j-m-a.jp



海老名駅から無料シャトルバス運行
海老名駅西口出て右側に停留所あります

私たちの仲間になりませんか

― 求人についてのお問い合わせ ―
法人本部 人事総務チーム
0120(54)1311
jinjisoumu@jin-ai.or.jp